

2008年5月12日
MR/J14/08



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学、第4回市民公開講座を開催 都市の持続可能性について考える

講座名: 国際連合大学公開講座～地球規模課題シリーズ
テーマ: 都市の持続可能性
日時: 2008年5月16日(金) 午後4時15分～午後6時45分
場所: 国連大学本部ビル(渋谷区) 5階エリザベス・ローズ国際会議場
講師: 柴田徳衛 東京経済大学名誉教授、前東京都企画調整局長
コメンテーター: 玉川英則 首都大学東京都市環境学部教授
主催: 国連大学

- 国連大学では、第4回「国連大学公開講座～地球規模課題シリーズ」を開催する。本講座は日本語による市民向けの講座で、国連大学にご協力いただいている専門家と一緒に国際的な諸問題について考えていくイベント。対象は、学界、産業界、一般市民を含めた幅広い方々。各回のテーマは、国連大学出版部が刊行する図書から選択し、講師にそれぞれの図書の著者または編者を迎える。
- 5月16日(金)に開催される第4回講座では、講師に東京経済大学名誉教授、前東京都企画調整局長の柴田徳衛氏、コメンテーターには首都大学東京都市環境学部教授の玉川英則氏を迎える。柴田氏は2006年に国連大学出版部から刊行された『持続可能な都市：日本におけるその「かたち」と「しくみ」(Sustainable Cities: Japanese Perspectives on Physical and Social Structures)』の第4章を執筆しており、玉川氏は本書の代表編者。
- 近年、発展途上国は急速に都市化しており、世界人口の大部分が都市に住むようになるのはそう遠くない未来である。ゆえに、新しい都市が持続的に発展していく道を模索することが今必要とされている。
- 日本は世界で最も都市化した国の一つであり、日本の経験は、持続可能な都市計画において注目すべき教訓を提供している。国として、そして日本に住む人々が現在直面している都市問題は日本に特異なものではなく、都市開発があるレベルに到達した時、どの国にでも発生する課題である。
- 今回取りあげるテーマ「都市の持続可能性」では、急速な経済成長と都市発展を遂げた日本の経験を考察。世界の都市研究者や途上国の開発に従事する実務家に重要な視点を提供している。また、社会的アプローチと技術的アプローチの間の葛藤、都市計画の専門家と市民社会の意見の相違を検証している。
- 本講座は一般参加可能。会場の都合上、要事前申込み。尚、当日の様子は、ウェブキャストでも閲覧可能。詳細は右記のURLをご参照。 <http://www.unu.edu/isgi/>

当講座の取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野(やの)までご連絡ください。(電話:03-5467-1311、Eメール:media@unu.edu)

過去に開催した「国連大学公開講座～地球規模課題シリーズ」について

第1回講座では「平和構築の死角」をテーマに取り上げて開催。続く第2回、第3回講座では環境問題に焦点をあて、「水の安全保障」、「アジアの気候変動政策」をテーマに、それぞれ講座を開催した。